

決算補足資料 - 2020年8月期

暁飯島工業株式会社 (1997)



人にやさしい、地球にやさしい。

1. **暁飯島工業株式会社のご紹介**
2. 2020年8月期決算概要と今期の見通し
3. 将来に向けた方向性



人にやさしい、地球にやさしい。

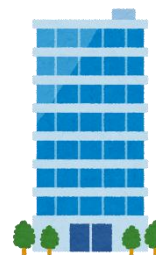
3つの事業分野と特徴

茨城県を中心とした空調・衛生設備工事のトップランナー



売上構成

61%



建築設備事業

様々な条件・用途に沿った建物に対する空調・衛生設備の設計及び施工。対象は、事務所、医療、スポーツ施設、研究施設など

34%



リニューアル事業

既存建物の非効率な設備を、最新設備・省エネ設備へと刷新し、省エネ、低炭素な建物へと転換

5%



ビルケア事業

定期点検やメンテナンスこそ建築設備及びリニューアル事業の要として、お客様との長期に渡る信頼関係を構築し快適で安心感のあるビル空間を提供



茨城県庁舎空調設備工事



- 管理・メンテナンス、リニューアルまでを見据えた長期的な目線で、設計・施工サービスを提供

取手市井野なないろ保育所（上）、水戸市庁舎（下）



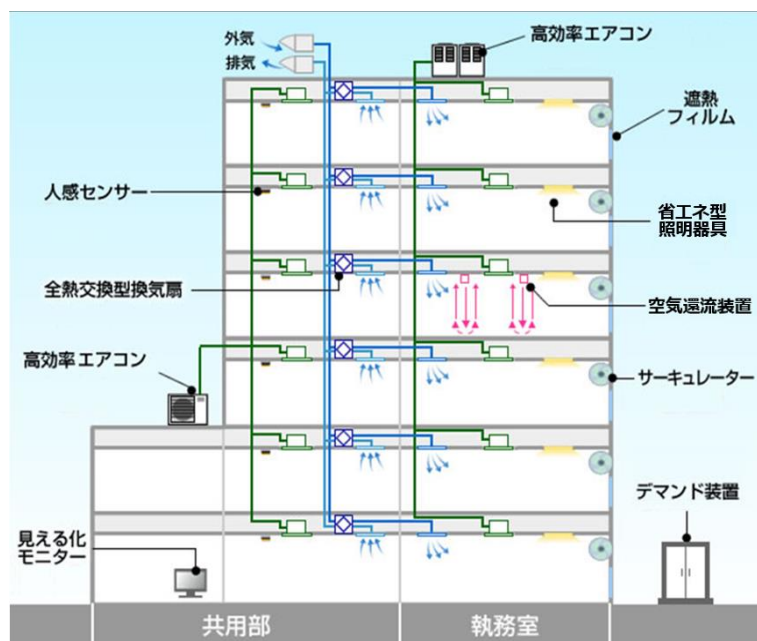
- 茨城県内総合設備工事会社のトップランナーを自負し、事務所・医療・スポーツ施設、美術館、その他施設等様々な条件・用途に沿った設備工事に対応可能な体制を構築



人にやさしい、地球にやさしい。

リニューアル事業

省エネ改修工事



- リニューアル事業では、省エネルギー化、低炭素化に向けた工事に注力
- 設備刷新による機能性や快適性の向上と、環境負荷の軽減を両立するとともに、中長期的な設備のランニングコストの低下を実現する

ガス焚冷温水発生機 → 高効率エアコン



改修前



改修後

一定速エアコン → 高効率エアコン



改修前



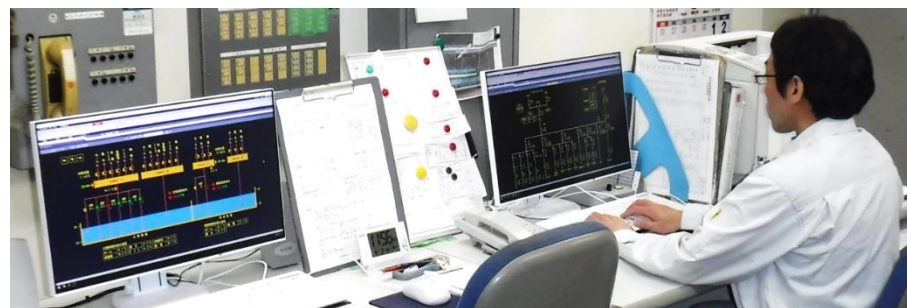
改修後



空調機制御盤点検



水戸芸術館（集中制御）



加圧給水ポンプ点検



- 設備の管理・メンテナンスは、機械や電気など、多様な専門性を持つ技術者により実施
- 一部の施設では24時間体制での管理・メンテナンス体制を構築

社是・シンボルマーク・沿革



人にやさしい、地球にやさしい。

社是

健全なる企業活動を通じ
誠意を以って社会に貢献する

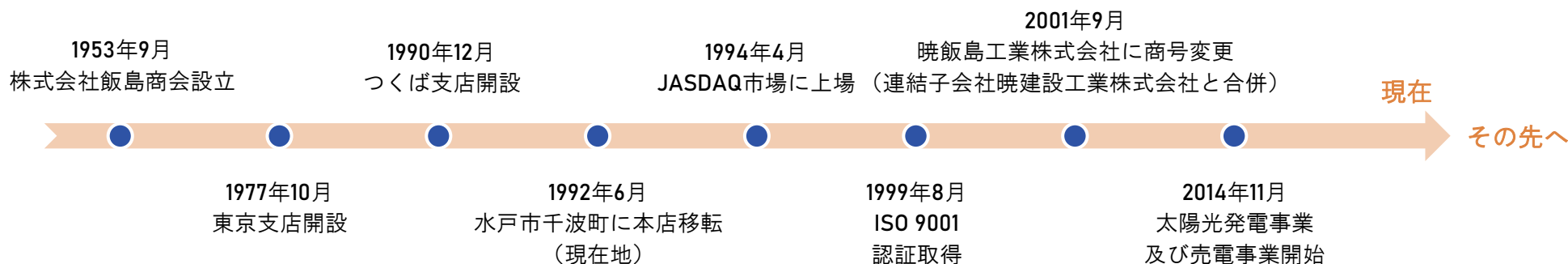
シンボルマーク



ひとにやさしい、
地球にやさしい。

沿革

創業70年間近。100年企業を目指して邁進します。





ビル空間のスペシャリストとして



長期的な 信頼関係

「ヒト」「モノ」「社会」が存在する空間に、常に最適な環境を提供する専門家として、お客様との長期に渡る信頼関係を最重視

最適なソリューションを提供

お客様に適切なタイミングでリニューアル提案を実施し、状況に応じた最適なソリューションにより一貫した価値を提供

エリアでトップ の実績と技術

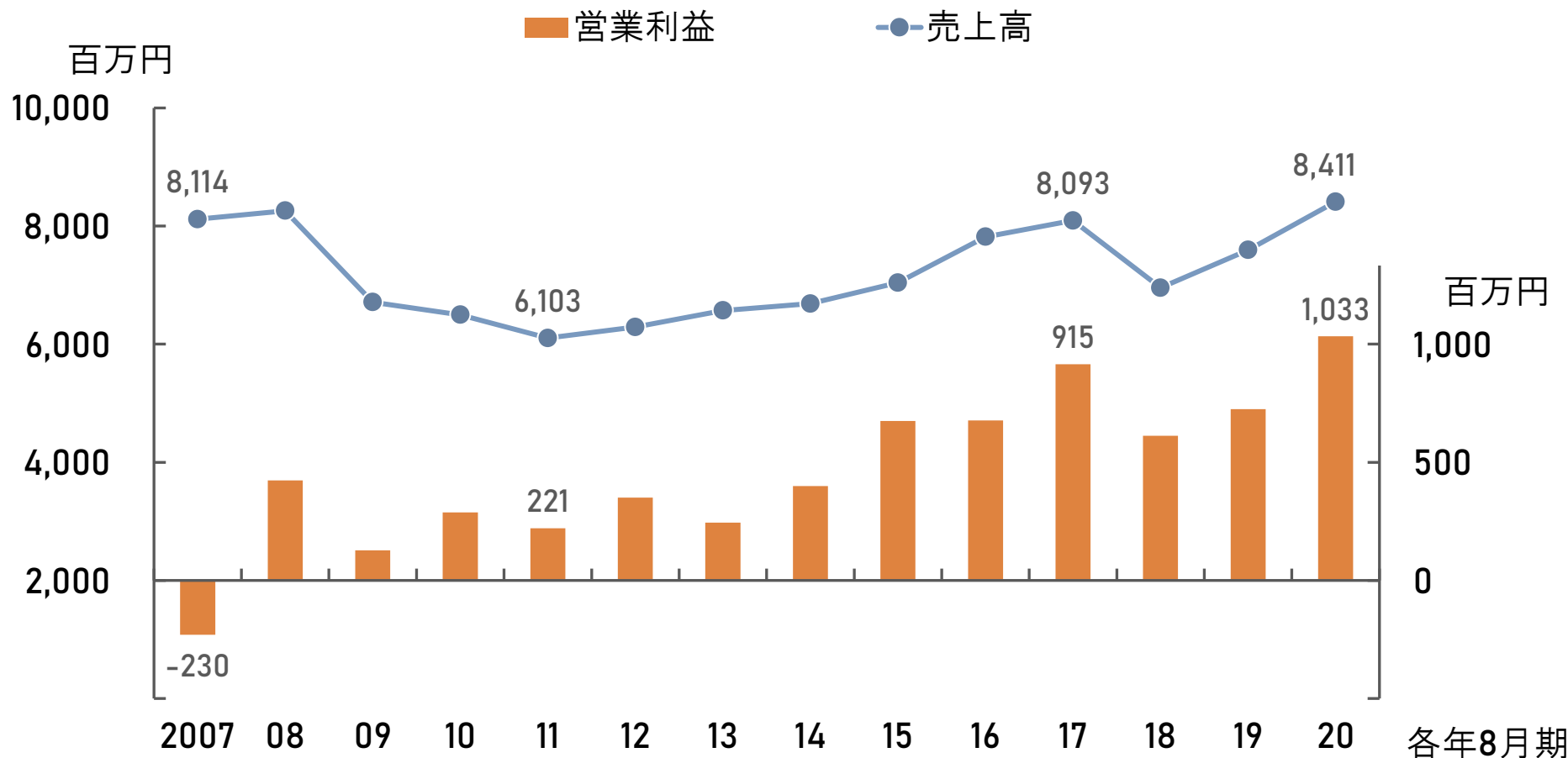
水戸・つくば・東京の3拠点を基盤とし、茨城、東京を中心に事業を展開。茨城県では、実績・技術力ともに設備工事のトップを走る



人にやさしい、地球にやさしい。

長期業績推移

建設市場の縮小に対応し利益を生む事業へと体質を転換



会社概要



人にやさしい、地球にやさしい。



社名	暁飯島工業株式会社
設立	1953年9月
事業拠点	本社 茨城県水戸市千波町2770番地5 東京支店 東京都台東区上野7番地6番11号 つくば支店 茨城県つくば市高野台2丁目10番1号
資本金	1,408百万円
株式	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード） 〈1997〉
代表者	代表取締役社長 植田 俊二
役員及び従業員数	143名（2020年9月）
ウェブサイト	http://www.eazima.co.jp/



人にやさしい、地球にやさしい。

1. 暁飯島工業株式会社のご紹介
2. 2020年8月期決算概要と今期の見込み
3. 将来に向けた方向性

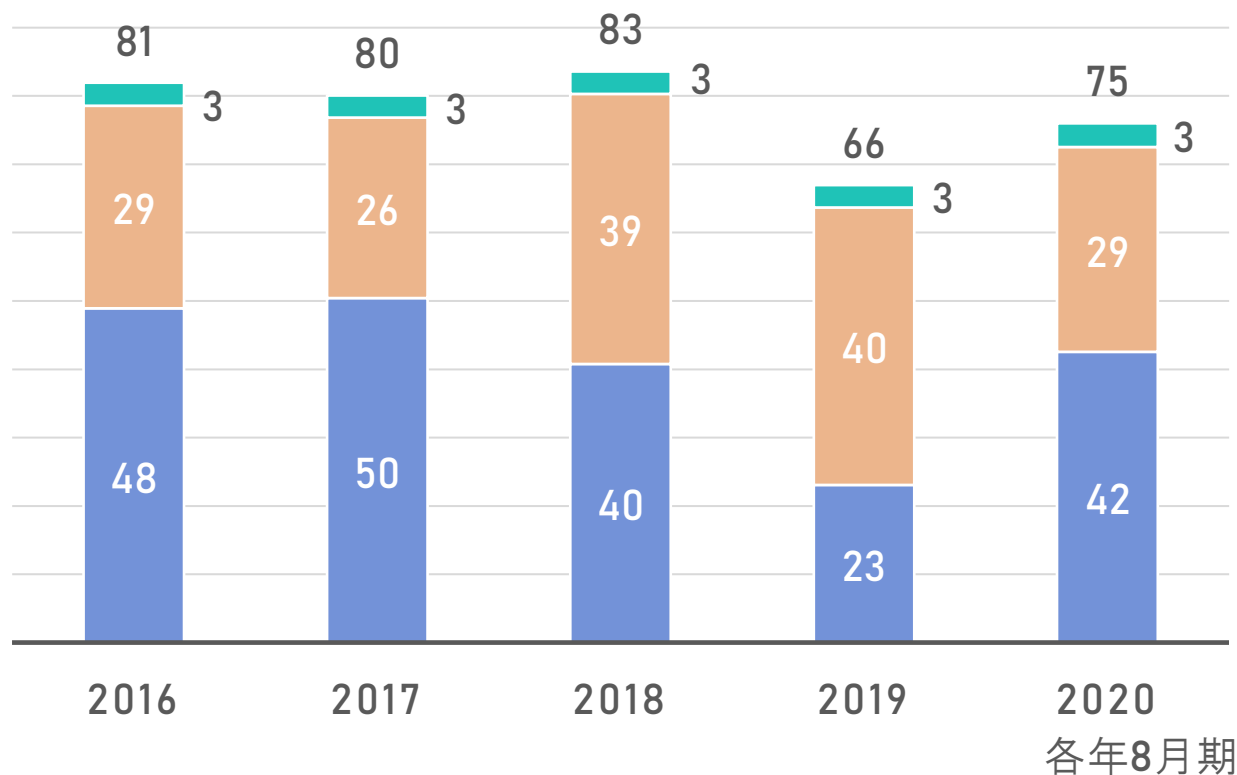


人にやさしい、地球にやさしい。

受注工事高の状況

受注工事高の推移

■ 建築設備事業 ■ リニューアル事業 ■ ビルケア事業
(単位：億円)



技術者の不足、 建設コスト上昇 で競争は激化

- 官公庁、民間ともに設備投資額は一定の水準を維持
- 慢性的な技術労働者の不足と建設コスト上昇により受注競争は激化
- 設備工事の施工管理や保守管理において、リニューアル・メンテナンス分野の企画提案力、技術競争力及び価格競争力を強化して対応



人にやさしい、地球にやさしい。

2020年8月期 財務ハイライト

利益率上昇により 最高益を更新

- 2020年8月期は、売上高の増加と工事利益率の向上により、前期比及び計画に対してともに大きく上回る結果となった
- 営業利益、経常利益、当期純利益ともに、2017年8月期の過去最高を3期ぶりに更新した

百万円	2019/8	2020/8	前期比	計画比
売上高	7,595	8,411	10.7%	5.1%
営業利益	725	1,033	42.4%	14.8%
- 営業利益率	9.5%	12.2%	+2.7P	+1.0P
経常利益	724	1,039	43.6%	15.4%
当期純利益	488	655	34.2%	19.0%
1株当たり利益	245.36	327.12	33.3%	20.0%
ROE	11.4%	13.6%	+2.2P	—
1株当たり配当金	45円	55円	+10円	+15円



人にやさしい、地球にやさしい。

売上高の推移

リニューアル工事 物件がけん引

- 前年度受注の完成工事物件が多く売上高は2桁の増加
- 特にリニューアル事業は、県庁舎自動制御設備更新工事の完成により大きく伸長した。ビルケアも、安定して増加を維持
- 茨城町における太陽光発電事業の本格稼働に伴い、太陽光発電事業の売上が増加

百万円	2018/8	2019/8	2020/8	前期比
事業セグメント別売上高				
建築設備事業	4,029	3,745	3,743	-0.1%
リニューアル事業	2,557	3,439	4,179	21.5%
ビルケア事業	324	332	350	5.3%
太陽光発電事業他	42	77	138	77.6%
エリア別売上高				
水戸エリア	4,115	4,431	4,698	6.0%
つくばエリア	1,798	1,464	1,773	21.1%
東京エリア	1,041	1,700	1,940	14.1%
売上高 合計	6,954	7,595	8,411	10.7%

* つくばエリアは、つくば市を中心とした茨城県南及びその隣接地域。水戸エリアはつくばエリア以外の茨城県、東京エリアは、東京都等、茨城県以外の関東圏を含む

主な工事物件



人にやさしい、地球にやさしい。

完成工事物件



水戸市新清掃工場建設設備工事

主な受注工事物件

茨城中央サテライトセンター新築設備工事

アパホテル上野駅前プロジェクト新築設備工事

水戸市新市民会館等施設建築物新築設備工事

東京消防庁本所消防署合同庁舎空調設備改修設備工事

主な完成工事物件

県庁舎自動制御設備更新工事

国補谷田部学校給食センター建設設備工事

都立八王子地区第二特別支援学校新築給水衛生設備工事

水戸南町2丁目ホテル新築設備工事

水戸市新清掃工場建設設備工事

アパホテル大森駅前新築設備工事



人にやさしい、地球にやさしい。

利益の増減要因

受注時採算性の強化等で粗利益向上

- 受注時採算性の強化、原価管理、及び施工管理の徹底、経費削減等による工事利益率の向上
- 完成工事物件における新型コロナウイルスの影響は軽微

百万円	2019/8	2020/8	前期比
完成工事高	7,517	8,272	10.1%
完成工事総利益	1,149	1,508	31.2%
- 完成工事総利益率	15.2%	18.2%	3.0P
太陽光発電事業他売上高	77	138	77.6%
太陽光発電事業他売上総利益	33	36	9.0%
売上高 計	7,595	8,411	10.7%
売上総利益 計	1,183	1,545	30.6%
- 売上総利益率	15.6%	18.3%	2.8P
販管費	457	511	11.8%
- 販管费率	6.0%	6.0%	0.0P
営業利益	725	1,033	42.4%
- 営業利益率	9.5%	12.2%	2.7P



人にやさしい、地球にやさしい。

資産・負債の状況

財務安定性の強化 を継続

- 現金回収の増加及び回収サイトの短縮による売上債権の減少
- 原価管理及び施工管理の徹底や、経費削減等による仕入債務の減少

	百万円	2019/8	2020/8	前期比
自己資本比率		51.8%	58.2%	6.4P
有利子負債残高		1,072	1,082	+10
有利子負債自己資本倍率		0.23倍	0.21倍	-0.02
流動資産		5,457	5,684	+227
現金預金		3,744	4,399	+655
売上債権		1,404	1,061	-342
固定資産		3,233	3,112	-120
資産合計		8,690	8,796	+106
流動負債		3,398	2,866	-531
仕入債務		2,239	1,753	-486
固定負債		790	809	+18
負債合計		4,189	3,675	-513
純資産合計		4,501	5,120	+619



人にやさしい、地球にやさしい。

2021年8月期の業績見込み・株主還元

2021年8月期 業績予想

百万円	2020/8	2021/8 計画	前期比
売上高	8,411	8,000	-4.9%
営業利益	1,033	610	-41.0%
営業利益率	12.2%	7.6%	-4.6P
経常利益	1,039	600	-42.3%
当期純利益	655	400	-39.0%
ROE	13.6%	10%以上	—

- 新型コロナウイルスによる影響は軽微と思われるが、設備投資の中止や延期により、受注競争のさらなる激化や工事利益率の低下が予想される
- コスト面でも、技術労働者不足や建設コストの上昇は継続し、工事利益の圧迫要因となる

株主還元の基本方針

- 株主に対する利益還元を経営の最重要政策の一つとして位置付け、将来の経営環境への対応や厳しい競争に勝ち抜くため、財務面での健全性を維持しつつ、各期の利益水準に勘案した成果の配分を行う

	2019/8	2020/8	2021/8 計画
1株当たり利益 (円)	245.36	327.12	201.41
1株当たり配当金 (円)	45.00	55.00	40.00
配当性向	18.3%	16.8%	19.9%
総配分性向	18.3%	23.3%	19.9%



1. 暁飯島工業株式会社のご紹介
2. 2020年8月期決算概要と今期の見通し
3. 将来に向けた方向性



AE2030

NEXT Akatsuki Eazima VISION2030

～選ばれる会社へ～

2030年のありたい姿

- 空間のスペシャリストとして誠意をもってお客様と接し、「頼られる存在」になることで選ばれる続けるトップランナー
- きれいな水と空気を次世代に繋ぎ、持続可能な社会の実現に挑戦するトータルエンジニアリング集団
- 社員の幸せと地域の繁栄を追求し、成長し続ける会社



人にやさしい、地球にやさしい。

2030年に向けた長期ビジョン

2030年の目指す姿と 重点戦略



2030年の目指す姿・方向性

2030年度 売上高100億円を目指す

確固たる
地位の確立

- 1 強固なビル空間事業サイクルの実現
- 2 つくば、東京エリアの強化

次の成長
基盤づくり

- 3 ビル空間事業サイクルの拡張
- 4 新規領域への進出

魅力ある
企業へ

- 5 資本市場の期待に応える企業価値の向上
- 6 持続可能な社会への貢献

目指す姿を実現する重点戦略

事業基盤
の変革

- A. 競争力向上に向けた業務改革
- B. 顧客への能動的なアプローチと差別化
- C. 戦略エリアへの重点投資
- D. 次のAEを創る教育投資
- E. 技術・ノウハウの獲得と外部連携

経営基盤
の強化

- F. 人材の確保と職場づくり
- G. 財務・コーポレートガバナンスの強化
- H. ESG経営への取り組み



人にやさしい、地球にやさしい。

10年後のビジョン実現へのステップと第Ⅰ期の基本方針

次の10年間で3期間に分け、ビジョンを段階的に実現していく

- ➔ 選ばれるトータルエンジニアリング集団への変革に向けた第Ⅰ期として、新たな事業基盤、経営基盤を構築する
 - » 強固なビル空間事業サイクル実現への基盤構築
 - » 空間のスペシャリストの育成と人材確保、及び社員の幸福の追求
 - » 資本市場との対話促進
- ➔ 変革された基盤を土台とした、トータルエンジニアリング集団としての躍進
- ➔ ビル空間事業サイクルの拡張による新たなAEの成長モデル創出
- ➔ 空間のスペシャリストとして、選ばれるトータルエンジニアリング集団へ
- ➔ 持続可能な社会に貢献する次期成長モデルへの始動

第Ⅰ期
「変革の基盤構築」
(2021～23年度)

第Ⅱ期
「新たなAE
の躍進」
2024～26年度

第Ⅲ期
「次期成長
モデルへの
準備」
2027～30年度



人にやさしい、地球にやさしい。

第 I 期の基本方針と課題

選ばれるトータルエンジニアリング集団への変革の第 I 期として、新たな基盤を構築する

第 I 期 基本方針

- 強固なビル空間事業サイクルを実現する事業基盤構築に向けた施策を重点的に取り組む
- 空間のスペシャリストとして、事業基盤の変革を進める人材を確保し、社員が誇りと幸せを感じる職場をつくる
- 資本市場との対話を推進し、外部ステークホルダからの期待を獲得する
- 中計の実行を推進する特別な体制を整備し、その体制下で個々の施策や実行計画の検討を続ける

重点戦略と実現に向けての課題

A 競争力向上に向けた業務改革	① 現場・顧客情報の能動的な共有 ② 業務標準化による効率化と集中化 ③ ITによる徹底した省力化	E 技術・ノウハウの獲得と外部連携	① 省エネ、環境対応の取り組み ② デジタル技術への対応 ③ ビルケア事業の拡張
B 顧客への能動的なアプローチと差別化	① 顧客への戦略的、かつ、能動的な提案活動 ② 競合との差別化した提案	F 人材の確保と職場づくり	① 採用の強化 ② 多様性を伴った社員の幸福追求 ③ 魅力的で働きがいある職場づくり
C 戦略エリアへの重点投資	① つくばエリアのサイクル強化とエリア内シェア拡大 ② 東京エリアの広域化	G 財務・コーポレートガバナンス強化	① 株主還元の拡大 ② 資本市場との対話の活発化 ③ CGコードへの対応
D 次のAEを創る教育投資	① 次のAEを創る若手への教育投資 ② 「チーム暁飯島」の意識醸成	H ESG経営への取り組み	① 環境を意識した提案と貢献活動 ② 地域への貢献

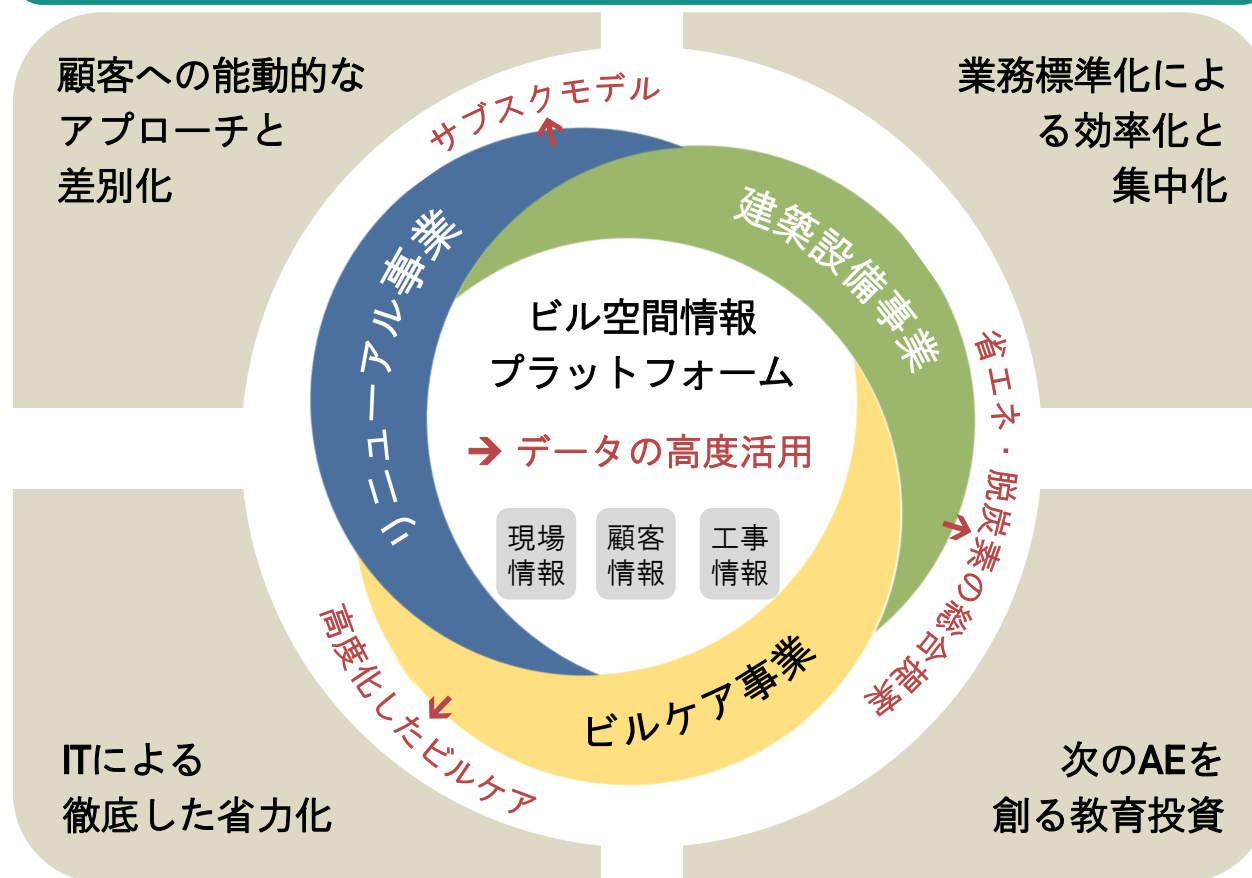


人にやさしい、地球にやさしい。

強固なビル空間事業サイクルの実現

- ビル空間情報をプラットフォームとして、シームレスなビル空間事業サイクルを実現
- プラットフォーム上のデータ活用を高度化し、サイクルを強化・拡張していく

空間のスペシャリストとして、選ばれるトータルエンジニアリング集団



IRに関するお問い合わせ先

暁飯島工業株式会社 管理統括部

〒310-0851 茨城県水戸市千波町2770番地の5

TEL : 029-244-5111 / E-Mail : info@eazima.co.jp